

農業融資営農類型別目利き研修

研修目的・ゴール等	農業融資にかかる営農類型別の基礎知識を理解のうえ、実務知識・ノウハウを活用し、業務が実践できるようになる
想定受講対象者	信用事業部門の農業融資にかかる担当者および新任管理者
適正人数	推奨：24名（上限：36名まで）
研修日程	1日～2日（1日でも可だが、講義部分の営農類型やケーススタディを増やし、2日とする運用も可） （1日開催の場合 9：30～16：30）
研修講師	J－P A O

【研修プログラム】

		10	11	12	13	14	15	16	17
研修内容	開講挨拶・オリエンテーション	講義 ・〇〇県の農業の概要 ・農業経営と農業金融の特徴	講義 ・農業経営体への融資提案 ・営農類型別の特徴 （詳細は下表のとおり）	（昼食）	ケーススタディ ・農家からの借入申込への対応演習 （詳細は下表のとおり） 策定演習 または、経営改善資金計画書の 策定演習 また、経営改善資金計画書の 策定演習 ・農家からの借入申込への対応演習			*適宜休憩	行動計画書の作成 まとめ・閉講挨拶
時間	20	50	70	60	180			20	10

	講義	ケーススタディ
パターン①	1種類※1	農家からの借入申込への対応演習※2
パターン②	1種類※1	経営改善資金計画書の策定演習※3
パターン③	2種類※1	経営改善資金計画書の策定演習※3

※1 講義：「稲作」、「野菜」、「酪農」、「養豚」、「肉牛」、「果樹」から選択
※2 農家からの借入申込への対応演習：「野菜」、「養豚」から1種類選択
※3 経営改善資金計画書の策定演習：「稲作」、「野菜」、「肉牛」から1種類選択
※4 講義やケーススタディの種類・数を増やしたい場合等は、J-PAOに事前相談・調整のうえ、2日間研修等を検討いただきたい
※5 講義とケーススタディにおいて選択する作目・内容については、必ず講師派遣申込書(個別申込用)に記載いただきたい

事前課題	あり	◇「減価償却費」と「経費から差し引く果樹、牛馬等の育成費用」について調べて理解する （所定様式に記載し当日持参）
事後課題	なし	

★ 本研修プログラムは、研修ゴールの達成に向けて、必要と認識した時間配分例。研修の開始時刻・終了時刻は、県域の実状等に応じて、適宜変更されたい。

★ 研修時間を延長する場合は、事前に講師と調整のうえ、適宜講義・ワーク等の拡充を検討されたい。一方、研修時間の短縮については、研修効果が低下するため推奨しないが、事情により短縮する場合は、原則30分以内までとし、事前に講師と調整のうえ、短縮を検討されたい（不明な場合等は、NCAまでご照会願いたい）。

★ 1日研修として設計しているが、講義部分の営農類型やケーススタディを増やし、2日とする運用も可（県域の状況等を踏まえ、ご検討いただくことを想定）。